

## 2009 年度

### まずユニバで銀メダル

ユニバーシアード (セビリア：ベオグラード)

瀧瀬真寿美

20km 競歩 1時間31分42秒 (2位)

2009年(平成21年)7月11日 土曜日

スポーツ (20)

# 瀧瀬(大塚製薬)が「銀」競歩

女子20キロ

夏季ユニバ

【ベオグラード10日共】ユニバーシアード夏季大会第10日は10日、ベオグラードで行われ、陸上の女子20キロ競歩で瀧瀬真寿美(大塚製薬)が1時間31分42秒で銀メダルを獲得した。

卓球のシングルスでは、男子の大矢英俊(東京アト)と女子の石垣優香(淑徳大)が決勝に進み、準決勝で石垣に敗れた照井萌美(早大)は3位。柔道は女子48キロ級の浅見八瑠奈と同無差別級の山部佳苗(ともに山梨学院大)が決勝に進出。男子60キロ級の福岡政章(総合警備保障)と同無差別級の高橋和彦(新日鉄)は3位決定戦に回った。

競泳は男子800メートル予選で日本(葛原、日原、物延、内田征)が

7分19秒27で全体のトップで通過した。女子200メートルは、ともに全体的に平泳ぎの野瀬瞳(九州共立大)は、ともに全体の3位で準決勝に進んだ。

## 忍耐強く後半猛追

女子20キロ競歩の日本記録保持者の瀧瀬は、後半の追い上げ及ばず銀メダル。優勝にあと一步届かず「前半は体が重くて動かなかつた。優勝できずに悔しい」と残念そうに

レースを振り返った。1周(2キロ)の周回コースで行われたレースは、1周目が9分45秒と非常に遅いペースでスタート。直後にロシアの2選手が飛び出したが、ベ

ースアップに対応できず、10キロで先頭との差は1分40秒まで開いた。その後は持ち前の後半の強さを発揮。忍耐強く追い、14キロすぎに2位に浮上すると、先頭を猛追してゴールした。「この大会に向けて積んだ練習がメダルにつながった」と瀧瀬。

約1カ月後に迫った世界選手権(8月15日からベルリン)に向け「故障しないようにしっかり調整する」と言い、手心えをつかんだ様子だった。(城福)



女子20キロ競歩で2位になった瀧瀬(ベオグラード(共同))